

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
家庭科・家庭基礎		保健医療科・3年	2	新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 (第一学習社)
科目の概要と目標		人の一生を生涯発達の視点でとらえて、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解したり、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得したりして、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	人とかかわって生きる	・自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴や課題を理解することができる。 ・さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解することができる。 	
	生活をつくる	・食生活をつくる ・ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考えることができる。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を習得することができる。 ・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について理解することができる。 ・調理に関しての基礎的な技術を身につけることができる。 ・自分の身のまわりの生活課題を見つけ、調査・研究を行い、レポートを作成することができる。 	
2 学期	生活をつくる	・衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の機能や役割について理解することができる。 ・衣服の素材について学び、品質表示等を見て適切に管理を行う方法について理解することができる。 ・布を使った小物の製作の技能を身に付けることができる。 	
	人と関わって生きる	・子どもと関わる ・高齢者と生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深めることができる。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解することができる。 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深めることができる。 ・現在の高齢社会について統計等より理解することができる。 ・高齢者の心身の特徴や生活について理解することができる。 	
3 学期	生活をつくる ・住生活をつくる	生活をつくる ・住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能や、住まいと気候風土とのかかわり、家族周期とのかかわりなどについて理解することができる。 ・安全で快適な住環境について考えることができる。 	
	消費者として自立する	消費者として自立する	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動において、意思決定のプロセスを理解することができる。 ・ロールプレイを通して契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法、被害にあった場合の解決方法について理解することができる。 ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解することができる。 	